

平成28年12月の大阪森林便り



今月の木の話

吸音・残響効果効果

コンサートホールに木材が使われているのはどうして？

- ・ 劇場や音楽ホールでは、内装に木が使われていることがよくあります。これは木の吸音効果や残響効果を活かしたものです。
- ・ 人間の耳は周波数によって聞き取れる音の大きさが違い、最も敏感に反応するのが中音域（500ヘルツ前後）です。
- ・ 高音域や低音域は、中音域と同じ音量でも人の耳には小さく聞こえます。
- ・ 木には音を吸収する力があり、特に中音域の音を最もよく吸収します。
- ・ 人間の耳に敏感な部分の音を吸収してくれることで、全体にバランスのとれた柔らかい音色を生み出しています。
- ・ 心地よい音には残響時間が関係しています。
- ・ 残響が長すぎると、いつまでも反射音が残ってうるさくて落ち着きません。また、小さな音も反響するので不快に感じます。

- ・ 残響が少なすぎても心地よい音にはなりません。
- ・ 木には適度な残響効果があり、心地よい響きをつくっています。
- ・ 上質なスピーカーに気が使われているのも、バイオリン・ギター・ピアノといった楽器が木で作られているのも、木材の吸音・残響効果を上手に利用しているのです。

（社団法人福岡県木材組合連合会「木のある生活」より抜粋）





北米産丸太、3か月連続上昇 11月積み対日価格

- ・北米産丸太の対日輸出価格が上昇。11月積みは前月比で3か月連続の値上がり。
- ・産地の米国と日本で木材需要が堅調に推移。
- ・米国では一戸建ての着工が好調、9月の着工件数は前年同月比5%増えました。

(2016年11月12日 日本経済新聞記事から抜粋)



南洋材丸太の上昇一服 10月対日価格



日印で買い控え姿勢

- ・南洋材丸太の対日輸出価格の上昇が一服。マレーシア・サラワク州産丸太の10月積み対日輸出成約価格は前月比据え置き。9月積みまでは3か月連続で上昇。
- ・有力輸入国のインド、日本ともに買い控え姿勢が強く、産地側が値上げを撤回の格好。

(2016年11月18日 日本経済新聞記事から抜粋)



国産針葉樹合板、在庫6%減 10月末

- ・農林水産省が発表した国産針葉樹合板の10月末の在庫は、前月比6%減少。
- ・減少は7か月連続。出荷が生産を上回る状態が続いています。
- ・2011年夏以来の低水準。メーカーはフル生産。
- ・11月下旬時点の価格は2014年11月以来の高値圏。

(2016年11月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

